様式４

都市再生整備計画　フォローアップ報告書

茜が丘・野村西地区

・地方都市リノベーション事業

平成30年4月

兵庫県西脇市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	図書館の年間貸出人数	人／年	32,591人／年	100,000人／年	45,510人／年	確定 見込み ●	△	あり ● なし	81,462人／年	H30年3月	△	施設が整備されたことによる利用者の増加と図書の貸出制限冊数の増冊により、利便性が向上したため。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値達成には至らなかったが、従前値と比較すると年間貸出人数は倍以上の数値となり、図書館利用者数も大幅に増加している。
指標2	地域活動等に参加している市民の割合	%	57.5%	65.0%	54.9%	確定 ● 見込み	×	あり なし ●	59.3%	H30年3月	△		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	目標値達成には至らなかったが、当施設整備完了後、数値が改善してきている。
指標3	複合施設の利用者数	人／年	－	200,000人／年	250,129人／年	確定 見込み ●	○	あり なし	446,737人／年	H30年3月	○	新たなイベントの創出をはじめとする多様なソフト事業の実施により、施設利用が活性化され、利用者の増加に繋がったと考える。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	基幹事業に加え、効果促進事業である児童館、子育て学習センターの併設による相乗効果で、目標以上の利用があった。

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	住んでいる地域では、子どもたちが健やかに育っていると感じる市民の割合	%	75.4%		77.9%	確定 ● 見込み			77.1%	H30年3月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	効果促進事業の児童館整備により、改善効果が見られた。
その他の数値指標2	地域交流センターの利用者数	人／年	－		16,860人／年	確定 見込み ●			48,731人／年	H30年3月		施設の認知度が向上したことに加え、多様な活動が活発に行われたため。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地域交流センターでは、地域活動の拠点として、多様な活動が実施されており、地域の活性化が図られている。

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	子どもが安心して遊べる空間の提供	各種工作教室等の開催 子育てコンシェルジュの配置 高校や地元団体との連携事業 イベントの実施	児童館において、親子で楽しめる機会を設けるとともに、子育てコンシェルジュを配置することにより、子育ての悩みや相談を適切に担当課へ繋ぐことができ、親の子育てに関する不安等を軽減することができた。また、NPO法人と連携し、子どもたちの自主学習や遊びの支援、見守り活動に取り組むことで安心して遊べる空間を提供している。	今後も子どもが安心して遊べる空間を提供していくため、円滑に事業を行う。
	地域住民の交流が活性化	施設PRやイベントの実施 自主活動の開催	地域住民が主体となり、自主活動を開催することにより、交流の場となっている。また、当施設をあげたイベントを実施し、施設認知度の向上と地域住民の交流の機会の創出に寄与している。	引き続き、地域住民が主体となって行う活動への継続的な支援を行う。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	子育て家庭の不安や負担を軽減	プレサポータ（臨床心理士等）による個別相談 講演会や多様なイベントの実施	臨床心理士による個別相談の実施や子育てに関する講演会を定期的に開催し、子育て家庭の不安や負担を軽減することができた。また、親子向けの多様なイベントを実施し、交流の場を設けることで新たな親子コミュニティの形成に寄与している。	今後も当施設で行われているイベントやサポート体制について周知を図り、親子が気軽に参加、相談できる環境整備を実施する。
	地域住民のまちづくりに対する関心や参画意識の向上	地域住民が主体となるイベント等の開催 老若男女が活躍できる環境づくり 多世代が交流できる居場所の創出	地域住民が主体となり運営する自主活動の発表の場を設けるなど、多くの人々が参加できる場を提供した。また、誰でも自由に使用できるフリースペースを設けることにより、多世代が交流できる機会と賑いを創出した。	地域交流の活性化のため、多くの市民が参加できる活動の機会を創出する。

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項